

～令和6年度 シニア学部神岡校 開催レポート 第6号～

【飛騨の歴史再発見「神岡の産業史」】

12月17日(火)に、神岡町公民館にて飛騨や神岡の産業史について改めて学べる講座を開催し、35名の方が参加しました。講師には、元高等学校地歴科教員の菱村 文夫氏をお迎えしました。

神岡の産業といえばまず鉱業を思い浮かべますが、豊富な森林資源を持つ林業の町でもあったことや、木材産出量は他の地域には及ばないまでも木材供給地として栄えた一面もあり、鉱物や木材の搬出のため運輸業も盛んになっていったこと、時代が進み鉱石の輸送方法も馬方から馬車軌道、機関車軌道へと発達していったことなど、意外な神岡の産業の歴史について学ぶことができました。農畜産業の分野では、養蚕は家内で行われていたほか、県内外の大手製糸工場の工女として労働力の供給地としてのかかわりがあったことや、農産物は山之村地区でわらび粉づくりが行われていたことなど鉱業以外の産業についても知ることができました。

参加者からは、「私たちが聞いていた話と違って『ははーん、そうやったの』とあらためて(神岡の歴史を)知ることができました。」、「神岡の産業史は、金堀り集団の存在から鉱山へと発展していく一方、製糸、作馬など一般庶民の産業史でもあると知ることができた。」、「難しい話を大きな文字で題目を書き次々と時代を追って話してくださり、頭がさがります。」の感想が聞かれました。

